

でくっどかい？  
～クラブ活動・音楽療法をはじめて～

施設名	サンセリテのがた
発表者	平井 夏子
共同研究者	稲村 美千代 逆瀬川 みゆき 城之園 誠

一般に、アクティビティとは、『活動』『働き動くこと』という意味を持つが、福祉の現場では、趣味・生きがい・歌・ゲーム・陶芸等、心身の活性化の手助けを意味している。

当施設では、『アクティビティ＝生きがい作り・やる気』として捉え、日ごろ利用者一人一人が充実した施設介護を受けられることを目的としてリハビリテーション・レクリエーション等の提供を行っている。利用者は身体面、精神機能面に個人差があり、リハビリテーションはもとよりレクリエーションにおいても、全員を一つの対象とした活動内容では、スムーズに受け入れていただけ無い事が多いのが現状である。

そこで、すべての利用者が満足感、達成感を得て、日常生活の活性化へとつながるようにリハビリテーション・レクリエーションを再検討し、当施設では、音楽療法・クラブ活動という方法を取り入れた。その内容と利用者の変化について考察を加え報告する。